

日 絹 月 報

平成27年12月号 第465号

発行：一般社団法人日本絹人織物工業会

日本絹人織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 下請取引の適正化について、親事業者に要請
2. SCM 第16回経営トップ合同会議開催
3. JFW-JAPAN CREATION 2016ファイナルレポート
4. 第97回通商問題委員会の開催
5. セーフティネット保証5号の対象となる指定業種

◇ 下請取引の適正化について、親事業者に要請 ◇

平成27年11月13日

経済産業省

本件の概要

我が国の景気は、企業の経常利益や雇用関係を中心に改善しており、その中で、中小企業の景気も好転しつつあります。

一方で、相対的にみると中小企業は依然として厳しい状況にあり、原材料価格、エネルギー価格、人件費等の上昇による収益圧迫等に直面しています。

こうした経済情勢を踏まえ、経済産業省は、親事業者（約20万社）等に対し下請取引の適正化等について要請します。

具体的には、下請代金支払遅延等防止法の遵守、金融繁忙期の下請事業者の資金繰りへの配慮、適切な取引価格の決定、原材料価格等の上昇への配慮、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保などを要請しています。

1. 「下請取引の適正化」について（下請代金支払遅延等防止法関連）

経済産業大臣及び公正取引委員会委員長の連名で、親事業者（約20万社）及び業界団体代表者（638団体）に、下請取引の適正化等について要請しています（別添1）。

2. 「下請事業者への配慮等」について（下請中小企業振興法関連）

経済産業大臣名（他省庁所管の業界については主務大臣との連名）で、業界団体代表者（864団体）に、下請中小企業振興法に定める「振興基準」の遵守について要請しています（別添2）。

（参考）

下請代金支払遅延等防止法：

下請取引の適正化、下請事業者の利益保護を目的とした法律です。中小企業庁は、公正取引委員会と連携し、同法違反の疑いのある親事業者に対する検査等を行っています。

下請中小企業振興法：

親事業者の協力のもと、下請事業者の振興を図ることを目的とした法律です。この法律により定められた「振興基準」には、親事業者の協力に関する事項及び下請事業者の努力に関する事項が規定されています。

経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/press/2015/11/20151113002/20151113002.html>

下請取引の適正化等について、親事業者等に要請します

担当

中小企業庁 事業環境部 取引課長 安藤

担当者：柳川、多田、村山、平澤

電話：03-3501-1511（内線 5291～7）

03-3501-1669（直通）

発表資料

- ・ [下請取引の適正化等について、親事業者等に要請します \(PDF 形式：175KB\)](#) 
- ・ [下請取引の適正化について \(PDF 形式：203KB\)](#)  （別添1）
- ・ [下請事業者への配慮等について \(PDF 形式：290KB\)](#)  （別添2）

◇ SCM 第16回経営トップ合同会議開催 ◇

繊維ファッションSCM推進協議会主催による「第16回経営トップ合同会議」が11月20日、TOC有明コンベンションホールで開催された。会議には、参加企業67社の経営トップ、経済産業省の糟谷製造産業局長、寺村繊維課長、オブザーバーとして企業、業界団体等130名が参加した。

来賓として出席した糟谷製造産業局長はご挨拶の中で、「『歩引き』取引は協議会会員企業では概ね廃止されているようであるが、非会員企業間での取引では無くなっていない。『歩引き』が無くならない理由のひとつに手形の決済が多い事があげられる。世の中では新しい金融決済技術が続々と進展しているのに対し、繊維業界だけがいつまでも昔のような手形決済を行っていてよいものなのか考えなくてはいけないのではないか。」と商慣習と EDI システムの導入についての問題点を指摘した。

会議では、「歩引き」取引全廃への取り組み強化や環境変化に合わせた取引ガイドラインの見直し、情報共有のための標準プラットフォーム導入に向けた課題検討などについて活発な議論が行われた。

◇ JFW JAPAN CREATION 2016 ファイナルレポート ◇

過去最大規模となった「JFW JAPAN CREATION 2016」、「Premium Textile Japan 2016A/W」が11月25～26日の2日間の会期を終えて無事閉幕した。今年は小売店頭でのメイドイン・ジャパンフェアや秋から「J∞クオリティー」認証制度がスタートするなど、国産素材の需要が高まる中での開催となった。今回は天候に恵まれず、初日こそ来場者が少ない時間帯があったが、2日目は従来通りの集客を得て場内の各所で熱心な商談が繰り広げられた。

会期：2015年11月25日（水）～26日（木）

会場：東京国際フォーラム展示ホール

主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構
JFWテキスタイル事業運営委員会

後援：経済産業省 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

日本繊維輸入組合／日本繊維輸出組合

【来場者】 来場者の傾向を見ると、前回同様に『アパレル・小売り』が、『問屋・商社・企画会社』の数を大幅に上回った。例年、この2つのカテゴリーの来場者数が拮抗していたが、昨年 AW 展からこの傾向が強まっている。これはテキスタイルの国内回帰の流れの中で、各アパレルが素材をベースに商品の差別化を図ろうとする事が伺える。また、多くは『Visitor』に含まれる海外バイヤーの増加も際立ち、特にアジアを中心に団体入場が多かった。

<<JFW-JC2016、PTJ2016AWの来場者数>>

	アパレル、 小売	問屋・商社・ 企画会社他	PRESS	主催関係者・ 関係団体	Visitor	Student	各合計	総来場者数
JFW-JC2016	6,530	6,077	107	180	1,735	1,270	15,899	17,088
PTJ2016A/W					1,189	—	14,083	

*注：総来場者数はPTJ、JC 何れにも来場された方を1名とカウント(故に、各展示会合計の合算数と総来場者数は一致しない)

□トレンド・コーナー（ロビーギャラリー）

JFW Textile View2016A/Wトレンド・ディレクションに基づき、企画開発したJFW-JC、PTJ 出展者のテキスタイルを編集・展示したトレンド・コーナー。今回は史上最多954点のテキスタイル及び副資材で構成した。PTJ 受付をトレンド・コーナーと繋げた事で、多くの来場者がトレンド・コーナーに訪れた。

テーマ別展示数◇美活仕草：235点◇設計規則：241点◇宇宙陰影：239点◇面影平野：239点

□ インデックス・コーナー（ホワイエ、場内）

出展各社の新商品・イチ押し素材を展示するインデックス・コーナーは、各会場入口のホワイエ（一部場内）に設けられた。出展者数の増加に伴い、今回は過去最多の523点（JFW-JC：259点/PTJ：264点）の素材・副資材を展示し、来場バイヤーを各出展小間へ誘導した。

■JFW-JAPAN CREATION 2016

□ 出展エントリー状況：97件/279社/227.9小間（昨年：84件/269社/219.4小間）

ゾーン	申込み件数	総参加企業・団体数	小間数(6㎡換算)
テキスタイル(国内)	71	202	145.6
服飾資材	10	19	15
繊維関連・製品	9	13	18.6
毛皮・皮革	5	43	47.5
Media Stand	2	2	1.2
合計	97	279	227.9

* 海外出展者：韓国1件(12社)/15小間、台湾5件(12社)/19小間、英国1件1小間

JFW-JC 会場では国内の産地組合が表面感を訴求する素材などを提案。日本絹人繊維物工業会は、過去最多となる50小間（傘下の16組合から77社が参加）で出展。今回からブースの目に付きやすい位置に産地名を表記し来場者にPRした。秋冬を代表する毛織物産地の「Bishu Style」には9社・グループが参加。衣料用テキスタイルは勿論、非衣料系迄も視野に入れた機能素材や特殊刺繍、試験認証センターなど、バリエーション豊かな内容で来場者にアピールした。富山県繊維協会ではラグビー日本代表のユニフォームを展示し、来場者の注目を集めていた。今回初出展の大阪繊維産地活性化ネットワーク協議会の

合同ブースには12社が参加。何れも会期を通じて賑わっていた。また、いわて産業振興センターは実力派の縫製工場4社が出展、島精機はデザインシステムのほか、ホールガーマットのニットサンプルを展示し、その技術力を来場者に披露するなど“繊維総合見本市”にふさわしい陣容での展示会となった。

海外からは台湾、韓国、英国が合計25社出展し、機能素材や感性素材等を出品した。特に大型出展の韓国繊維産業連盟や台湾紡拓会は、今回の出展成果に満足度も高く、「毎回、来場者が多いが、今回も沢山の来場を得て満足している。次回も出展したい」とコメントしていた。

□ Forum（セミナー）

第一線で活躍する講師陣が日本のテキスタイルやファッション、マーケットの最新情報やテーマに沿った解説を語る“Forum”。今回も旬な話題をテーマに実施された。

> 2015年11月25日（水）11:00～

「シルクでイノベーションを～世界一薄いシルクへの挑戦～」

講師：齋藤栄太氏（齋栄織物株常務取締役）～講演内容～

福島県の川俣産地は、もともと軽いシルクの羽二重を特徴とし、主に婚礼衣装に用いられていましたが、婚礼衣装が和装からウェディングドレスに移るに従い構造変革が求められました。そうしたなか、開発されたのが“世界一薄くて軽いシルク”でした。さらにはネーミングも必要になるとの発想から、今日というブランディングにも着手。その代表が「fairy feather」（妖精の羽）です。製品の特徴は言葉によって理解が深まる、と考えたからです。同時に自社の力で販路を開拓しようと、アメリカやヨーロッパに向けてもグローバル戦略をスタート。現在ではアルマーニをはじめエルメスやヴィトンなど多くのラグジュアリーブランドが採用しています。当社のイノベーションは、「新システム」と「新サービス」が両輪です。そこでは機能的な価値とともに意味的な価値が付加されます。それを支えているのが「心を込めたモノづくり」なのです。

■ Premium Textile Japan 2016 Autumn/Winter

□ 出展エントリー状況：88社／120小間（昨年：68社／93.5小間）

ゾーン		件数	小間数
A	織物短繊維（コットン、麻、ウール、複合）	34	40.5
B	織物長繊維（化合織、シルク、機能素材、複合）	25	41.5
C	染色・後加工、刺繍・レース、プリント、皮革・毛皮	16	17
D	服飾資材、ニットファブリック、パイルファブリック、燃糸	13	21
合計		88	120

* 海外：4件/4小間（インド、韓国、台湾、中国）

* 新規・復活出展：13件/15.5小間

「PTJ2016AW」は過去最高の応募の中から厳選された88件の出展者が商談を行った。今回はラウンジ（CAFÉ）を跨いで Hall.1 側に出展スペースを拡張したが、場内の PTJ ゲートを2ヶ所にした事もあり、拡張部分も多くのバイヤーが訪れていた。今回の特徴としては「国産素材の見直し」という背景もあり、“メイドイン・ジャパン”を前面に押し出した企業が多くみられた。また、9月のミラノ・ユニカやプルミエール・ヴィジョンなどで評価を得た素材を訴求する企業も増えており、海外展での人気商品を国内で更に拡大するという連動したスタイルも定着してきた。

■ 2016年度 JFW テキスタイル事業実施予定

【国内】

□ Premium Textile Japan 2017 Spring/Summer

会期：2016年5月24日（火）～25日（水）10：00～18：30

会場：東京国際フォーラム 展示ホール1

□ JFW JAPAN CREATION 2017

会期：2016年11月29日（火）～30日（水）10：00～18：30

会場：東京国際フォーラム 展示ホール1、2+ロビーギャラリー

□ Premium Textile Japan 2017 Autumn/Winter

会期：2016年11月29日（火）～30日（水）10：00～18：30

会場：東京国際フォーラム 展示ホール1、2

【海外】

□ 「The Japan Observatory」at Milano Unica 2017 Spring/Summer

会期：2016年2月9日（火）～11日（木）9：00～18：30

会場：Fiera Milano City

□ 「The Japan Observatory」at Milano Unica 2017 Autumn/Winter

会期：2016年9月6日（火）～8日（木）9：00～18：30

会場：Fiera Milano City

※出展募集：2月末～3月（予定）

□ Intertextile Shanghai Apparel Fabrics

・Japan Pavilion 2016 Spring Edition

会期：2016年3月16日（水）～18日（金）9：00～18：00

会場：中國國家會展中心

・Japan Pavilion 2016 Autumn Edition

会期：2016年10月11日（火）～13日（木）9：00～18：00

会場：中國國家會展中心

※出展募集：3月（予定）

◇ 第 97 回通商問題委員会の開催 ◇

第 97 回通商問題委員会が 11 月 27 日（金）に開催され（1）日本の繊維貿易の現状（2）EPA 交渉の状況（3）EPA 産業協力の状況（4）第 5 回日中韓繊維産業協力会議等について説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

（1）輸出入全般の動向

① 2015 年 1 月～9 月の累計及び 9 月の現状

- ・円ベースでは、輸出は前年同期比 107.9%、輸入は同 106.9%。
- ・輸出（円ベース）は、前年同月比が 2013 年 3 月からは 2015 年 2 月を除きプラスが続いている。

項目	2015 年 9 月				2015 年 1 月～9 月			
	金額		前年同月比		金額		前年同月比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	77,651	646	104.0%	92.7%	726,384	6,005	107.9%	91.7%
輸入	483,890	4,025	105.1%	93.6%	3,341,968	27,663	106.9%	91.3%

② 繊維品別輸出入実績（2015 年 1 月～9 月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	111.6%	繊維原料	107.1%
糸類（紡績糸・合繊糸）	104.1%	糸類（紡績糸・合繊糸）	105.2%
綿糸	105.9%	綿糸	94.8%
毛糸	98.5%	毛糸	121.1%
合繊糸	104.9%	合繊糸	105.3%
織物	109.6%	織物	107.5%
綿織物	109.5%	綿織物	99.8%
毛織物	107.1%	毛織物	103.3%
合繊織物	111.8%	合繊織物	112.9%
二次製品	105.9%	二次製品	107.0%

（2）各国・地域別輸出入の動向

① 輸出（2015 年 1 月～9 月累計・前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）104.9%、米州 122.6%、欧州 107.9% 引き続き堅調に推移。
- ・中国は、102.3%。シェアは 1.7pt ダウンの 30.7% へ。

- ・ アセアン主要国は引き続き好調を維持。全体では106.6%、ベトナム113.9%、ミャンマー118.7%。アセアンのシェアは22.0%（前年比▲0.3pt）。ベトナムのシェアは9.4%（前年比+0.5pt）まで伸長。
- ・ 米州は122.6%と好調。シェアは1.2ptアップの9.8%へ。

②輸入（2015年1月～9月累計・前年同期比（円ベース））

- ・ 東南アジア（中国含む）107.6%、米州109.4%、欧州100.5%。
- ・ 中国は、102.5%。シェアは前年比2.8ptダウンの63.6%へ。
- ・ アセアン全体では123.6%。中でもベトナム126.1%、インドネシア118.2%、ミャンマー118.9%と、高水準を保っている。アセアンのシェアは21.0%（前年比+2.9pt）まで拡大。中でもベトナムのシェアは、9.3%（前年比+1.5pt）まで伸長。
- ・ バングラデシュも140.5%と大幅増が続く。（2015年4月からニット衣類製品の特恵関税が1工程基準に緩和された。）

2. 次回日程について

第98回通商問題委員会は、1月28日（木）14時～16時

◇ セーフティネット保証5号の対象となる指定業種 ◇

（平成27年度第4四半期）

経済産業省は、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者の資金繰りを一般保証とは別枠で、融資額の100%を保証する制度である「セーフティネット保証5号」について、平成27年度第4四半期に対象となる業種を指定し、公表した。

1. 制度概要

セーフティネット保証5号とは、業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者であって、経営の安定に支障が生じていることについて、市区町村長の認定を受けた中小企業者が以下の条件で信用保証協会の保証を利用できる制度。

【企業認定基準】

指定業種に属する中小企業者であって、以下のいずれかの基準を満たすこと。

- ①最近3か月間の売上高等が前年同期比で5%以上減少している中小企業者。
- ②製品等原価のうち20%を占める原油等の仕入価格が20%以上上昇しているにもかかわらず製品等価格に転嫁できない中小企業者。

【保証限度額等】

保証限度額：一般保証とは別枠で、無担保保証 8 千万円、最大で 2 億 8 千万円

保証割合：借入額の 100%

保証料率：0.7～1.0%（保証協会所定の料率）

2. 平成 27 年度第 4 四半期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の指定業種
【1159】その他の繊維粗製品製造業（製経業等）

<http://www.meti.go.jp/press/2015/12/20151211005/20151211005.html>

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報（全国版） ◇

中小機構では、J-Net 21 スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されている WEB 情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することが出来ます。

中小機構ホームページ <http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)

(公募中案件)

2015/12/7 掲載

「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」の公募開始

(中小企業基盤整備機構)

【ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業】地域の支援機関や中核企業等が主体となつて行う連携グループの形成から、連携グループが取り組む事業計画の作成及びその実現に向けて行う活動を支援します。

・募集期間：2015/12/4- 2016/1/22

動 向

- 1 1 月 2 5 日 当会 絹織物部会及び化合織物部会並びに先染・後染化合織物専門
委員会合同会議
1 1 月 2 7 日 日本繊維産業連盟 第 9 7 回通商問題委員会
1 2 月 4 日 繊維産業流通構造改革推進協議会 「第 2 回取引改革委員会」
1 2 月 4 日 繊維評価技術協議会 平成 2 7 年度第 3 回理事会

- 12月 9日 日本繊維産業連盟 第2回常任委員会
- 12月10日 当会 正副会長・正副理事長会議
- 12月17日 経済産業省 平成28年秋以降の叙勲・褒章候補者推薦のための説明会

会議予定

- ☆ 東京織物卸商業組合 新年賀詞交歓会
1月 5日（火）11時30分～ 於：綿商会館
- ☆ 大日本蚕糸会 新年賀詞交歓会
1月 6日（水）11時～12時 於：蚕糸会館
- ☆ 西陣織工業組合 平成28年新年総会・従業員表彰式
1月 6日（水）14時～16時 於：西陣織会館
- ☆ 日本絹人織織物振興連盟 監査会
1月 8日（金）11時～ 於：日絹会館
- ☆ 日本繊維輸出(入)組合 平成28年新年賀詞交歓会
1月 8日（金）17時～18時30分 於：ホテルグランドパレス
- ☆ 日本繊維機械協会 平成28年新年賀詞交歓会
1月14日（木）12時～13時30分 於：東海大学校友会館
- ☆ 商工中金 東京支店中金会 平成27年 新年合同賀詞交歓会
1月14日（木）18時30分～20時 於：東京プリンスホテル
- ☆ 当会 新年総会
1月15日（金）正副会長・正副理事長会議 11時30分～
臨時総会 12時～
振興連盟通常総会 13時～ 於：ホテルグランドパレス
- ☆ 日本繊維産業連盟 役員総会、新春講演会並びに新年賀詞交歓会
1月15日（金）役員総会 14時30分～16時45分
新春講演会 17時10分～17時50分
賀詞交歓会 18時～19時30分 於：東京プリンスホテル
- ☆ 日本アパレル・ファッション産業協会 新年会
1月20日（水）18時～ 於：ホテルニューオータニ

イベント

- ☆ 2016 西陣織展
1月29日（金）～31日（日）10時～17時（最終日 16時まで）
会場：西陣織会館 5F・6F

- ☆ 第81回東京インターナショナル・ギフト・ショー 春2016
2月3日(水)～5日(金) 10時～18時(最終日 17時まで)
会場：東京ビッグサイト

- ☆ 「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2017 Spring/Summer
2月9日(火)～11日(木) 9時～18時30分
会場：イタリア ミラノ フィエラ ミラノ シティ

- ☆ 長浜きもの早春のつどい2016
2月11日(木・祝) 15時～20時30分
会場：北ビワコホテルグラツィエ・慶雲館

- ☆ 2016 桐生テキスタイルプロモーションショー
3月9日(水)～10日(木) 10時～18時(最終日 17時まで)
会場：青山テピア

- ☆ Intertextile 上海 Apparel Fabrics Japan Pavilion 2016 Spring Edition
3月16日(水)～18日(金) 9時～18時
会場：中國國家會展中心